

6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 事業費11億2,741万円

財源	国のお金	3,555万円	施策実現のための 主な事業費	十文字地域多目的総合施設整備事業	7億6,146万円
	県のお金			横手総合交流促進施設費	6,244万円
	市の借金	6億5,080万円		地区交流センター費	5,973万円
	その他	1,360万円		横手市交流センター費	5,592万円
	市のお金	4億2,746万円		その他	1億8,786万円

市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、様々な課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆地域づくり市民活動補助事業 (4,800万円)

住民主体による地域の特性を活かしたまちづくりを推進するため、地域住民による自主的・主体的な地域づくり活動や地域課題の解決を図る活動を支援します。

◆町内会活動補助事業 (1,600万円)

住民自治の円滑な推進を図るため、自治会や町内会、集落等が行う地域づくり活動や備品整備に要する経費を支援します。

◆町内会館等建設補助事業 (1,270万円)

住民自治の円滑な推進を図るため、住民自治活動の拠点となる集会施設等の整備に要する経費を支援します。

◆十文字地域多目的総合施設整備事業 (7億6,146万円)

十文字地域に、行政機能、防災拠点機能、生涯学習機能に加え、市民交流スペースや健診スペースを備えた多目的総合施設を新たに建設します。



十文字地域多目的総合施設完成イメージ

6-2 男女が尊重し合う社会づくり

事業費 198万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ワークライフバランス推進事業	120万円
	県のお金			男女共同参画社会推進事業	78万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	198万円			

男女が互いを尊重し合いながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆男女共同参画社会推進事業 (78万円)

性別に関わりなく一人ひとりが輝き自分らしく生きられるまちの形成に向け、第4次横手市男女共同参画行動計画(令和3年度～7年度)の策定、市民による推進協議会やイベントを開催します。

◆ワークライフバランス推進事業 (120万円)

働き方改革を推進するために、企業・団体の経営者、従業員それぞれに向けたワーク・ライフ・バランスに関する講演会や研修を開催します。

6-3 情報を共有する環境の整備

事業費 1億 1,560万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	行政情報発信事業	4,358万円
	県のお金			市政協力員事業	3,509万円
	市の借金			地域情報通信網管理運営費	2,282万円
	その他	1,753万円		コミュニティFM中継局運営費	785万円
	市のお金	9,807万円		その他	626万円

市民と行政との情報共有が図られ、市制への関心が高まっていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆**広報誌発行事業 (3,635万円)**
毎月「市報よこて」を発行し、市民の皆さんに最新の情報をお届けいたします。
- ◆**コミュニティFM活用行政情報発信事業 (723万円)**
1日3回、よこてかまくらFMを通じて、市民の皆さんに市政情報を発信しています。
- ◆**横手市情報発信戦略プロジェクト事業 (285万円)**
「横手市情報センター」や「横手市LINE公式アカウント」の管理運営を委託し、市民の皆さんと一体となった情報発信の推進に努めます。



横手市情報発信戦略プロジェクト事業「よこてれび」

6-4 市内外との交流連携の推進

事業費 2億 372万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ふるさと納税PR事業	1億7,657万円
	県のお金	375万円		移住定住促進事業	929万円
	市の借金			ふるさと会支援事業	782万円
	その他	45万円		移住促進空き家対策事業	300万円
	市のお金	1億9,952万円		その他	704万円

市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆**移住定住促進事業 (929万円)**
 - ・移住コンシェルジュ、アドバイザーが移住希望者の相談等を受けるほか、首都圏等での移住相談会やセミナーに参加し、横手の魅力を伝えます。
 - ・また、東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、国の交付金を活用して移住者に対し支援金を支給します。
 - ・横手市への移住を促進するため、市外の方を対象に移住体験ツアー等を開催します。
 - ・移住定住につながる交流の促進や応援人口拡大のため、「なべっこ遠足 in 東京」や横手市の課題応援事業を実施します。
 - ・移住希望者が現地確認のため横手市を訪れた際の宿泊費の一部を支援します。
- ◆**移住促進空き家対策事業 (300万円)**
県外から横手市への移住に際して、空き家を取得して定住しようとする方に対し、空き家のリフォーム費用の一部を補助します。
- ◆**シティセールス事業 (271万円)**
「行ってみたいまち No.1」を目指し、各部署が連携して横手市の魅力を全国に発信していきます。



移住相談会の様子

7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 事業費 17億 4,502万円

財 源	国のお金	9,745万円	施 策 実 現 の た め の 主 な 事 業 費	雄物川庁舎整備事業	3億8,550万円
	県のお金	6,693万円		情報システム運用管理費	1億9,741万円
	市の借金	3億7,800万円		議員人件費	1億9,333万円
	その他	5,126万円		庁舎管理費(本庁舎)	1億3,250万円
	市のお金	11億5,138万円		その他	8億3,628万円

行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCA サイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最小の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆雄物川庁舎整備事業 (3億 8,550万円)

雄物川庁舎の老朽化に伴い、行政機能に加え地域防災の拠点と市民交流の場となる庁舎を新たに整備します。



雄物川庁舎完成イメージ

◆企画総務費 (422万円)

秋田県過疎地域自立促進協議会負担金など経営企画課の事務経費のほか、*Society5.0の実現に向けた技術(未来技術)を活用した新たな社会システムづくりについて調査・研究する経費です。

*Society5.0・・・IoT、人工知能(AI)などの先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会 (内閣府HPより)

◆総合計画策定事業 (341万円)

- ・総合計画に位置付けられている各施策の成果や達成の度合い、市民からみた各施策の重要度・満足度を把握するために、まちづくりアンケートを実施します。
- ・第2次総合計画後期基本計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る審議会や策定委員会を開催します。
- ・体育館や市民ホールなどの大型公共施設整備等に関する市民検討委員会を開催します。

◆個人番号カード等交付事務費 (6,951万円)

マイナンバー制度及びマイナンバーカードに関する情報の提供に努め、市民のニーズに対応したマイナンバーカードの申請及び交付の方法により、カードの普及促進を図ります。

- ・窓口で…庁舎で写真撮影を行い、職員がカード申請を代行します。
- ・事業所や各種団体で…横手市内の事業所や各種団体等へ出張し申請の受付、交付を行います。カードの申請作業も職員が代行します。
- ・商業施設で…商業施設へ出張し、写真撮影やカードの申請補助を行います。



本庁舎 1 階の申請窓口

◆証明書等コンビニ交付費 (797万円)

市が発行する住民票等の諸証明を「近くで簡単に」取得できるコンビニ交付サービスの普及促進を図ります。マイナンバーカードをお持ちの方は、市が発行する各種諸証明書等を全国のコンビニエンスストアで取得できます。

7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 事業費 74億 8,231万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	公債償還元金	60億6,819万円
	県のお金	753万円		財産経営推進計画実施事業	4億5,417万円
	市の借金	4億1,960万円		公債償還利子	4億 66万円
	その他	2億4,287万円		ふるさと応援基金積立金	1億7,421万円
	市のお金	68億1,231万円		その他	3億8,508万円

限られた経営資源【ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源)]を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営がされていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆財産経営推進計画実施事業 (4億 5,417万円)

人口や財源の減少に対応し、公共施設を適正な規模や機能に再構築することを目的として、横手市財産経営推進計画を策定しています。

この計画に基づき、今年度は旧大森中学校、旧黒川小学校、平鹿文書資料館などの解体工事を行います。また次年度以降に向けて、十文字庁舎、睦合保育所、大鳥公園プールなどの解体工事設計業務を行います。

このほか、公共施設の長寿命化や改修等にかかるスケジュールなどを定める個別施設計画を策定します。

◆森林環境基金積立金 (2,534万円)

森林環境譲与税の効果的な活用を目指し、後年に行われる森林整備費用を積み立てします。

7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 事業費 81億 315万円

財源	国のお金	940万円	施策実現のための 主な事業費	人件費	80億1,502万円
	県のお金	1億4,472万円		特別職人件費 (三役等)	4,860万円
	市の借金			職員研修及び厚生費	2,605万円
	その他	9,441万円		特別職人件費 (教育長)	1,244万円
	市のお金	78億5,462万円		その他	104万円

職員一人ひとりが、市民(お客様)の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応していることを目指します

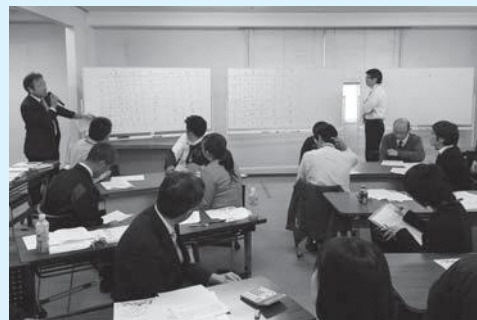
主な具体的取り組み事業

◆厚生費 (2,138万円)

職員が心身ともに健康で職務に精励するとともに、家庭生活との両立が実現できるよう、職場健診やストレスチェックを行います。

◆職員研修費 (467万円)

職員一人ひとりの知識や能力を向上させ、全体の資質も向上するよう職員研修を実施します。



職員研修の様子